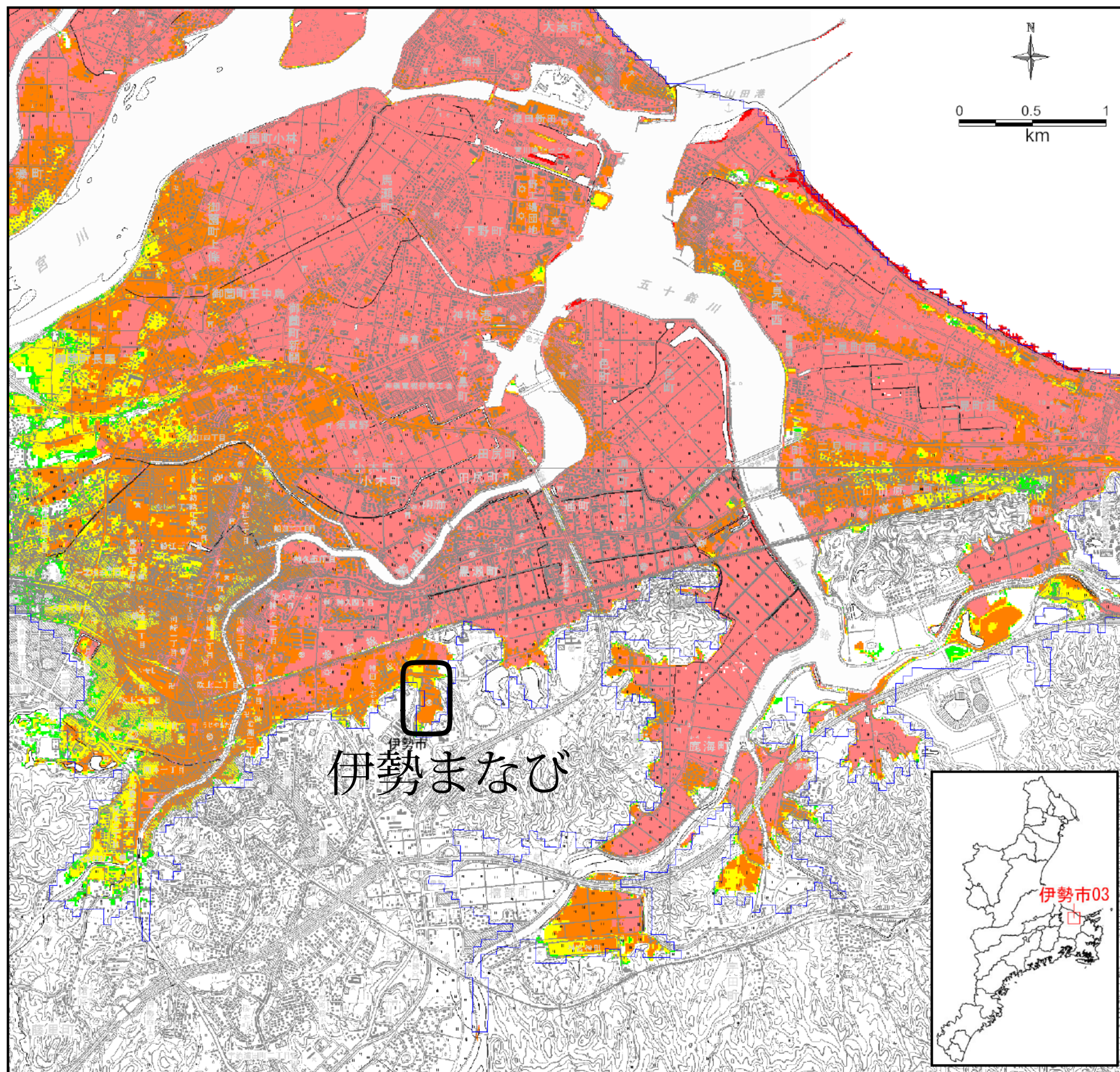




浸水深の目安

~10.0m

3階建ての建物が水没する

~5.0m

2階建ての建物が水没する

~2.0m

木造家屋のほとんどが全壊する

~1.0m

津波に巻き込まれた時ほとんどの人が亡くなる

~0.3m

避難行動がとれなく(動くことができない)になる

どのあたりまで避難しなければいけないかを確認しましょう！

■この図は、津波によってどのくらい浸水するかをその深さに応じて色分けして示しています。

■お住まいの地域がどのくらい浸水する可能性があるか、どこまで避難する必要があるかを確認しましょう！

想定はあくまで「一つの目安」です！

■南海トラフで過去繰り返し発生してきた地震は、地震が起こった場所や、揺れや津波の分布などが、地震ごとに異なっていることがわかっています。

■地震が起こる場所や、地震が起こったときの建物の状況などによって、この図で色が塗られていない場所でも浸水が発生したり、浸水がさらに深くなったりする場合があります。この図で示されている浸水範囲や浸水深は、あくまで一つの目安として考えてください。

この図の前提となっている地震

■過去に発生した記録は残っていないものの、科学的には南海トラフで発生する可能性がある「最大クラス」の地震を想定し、そのような地震に伴う津波が満潮時に発生した場合の浸水予測図を作成しました。

最大浸水深 (m)

20	50
10	20
5	10
2	5
1	2
0.3	1
0.01	0.3

平成23年度三重県
津波浸水予測範囲

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情複、第813号)

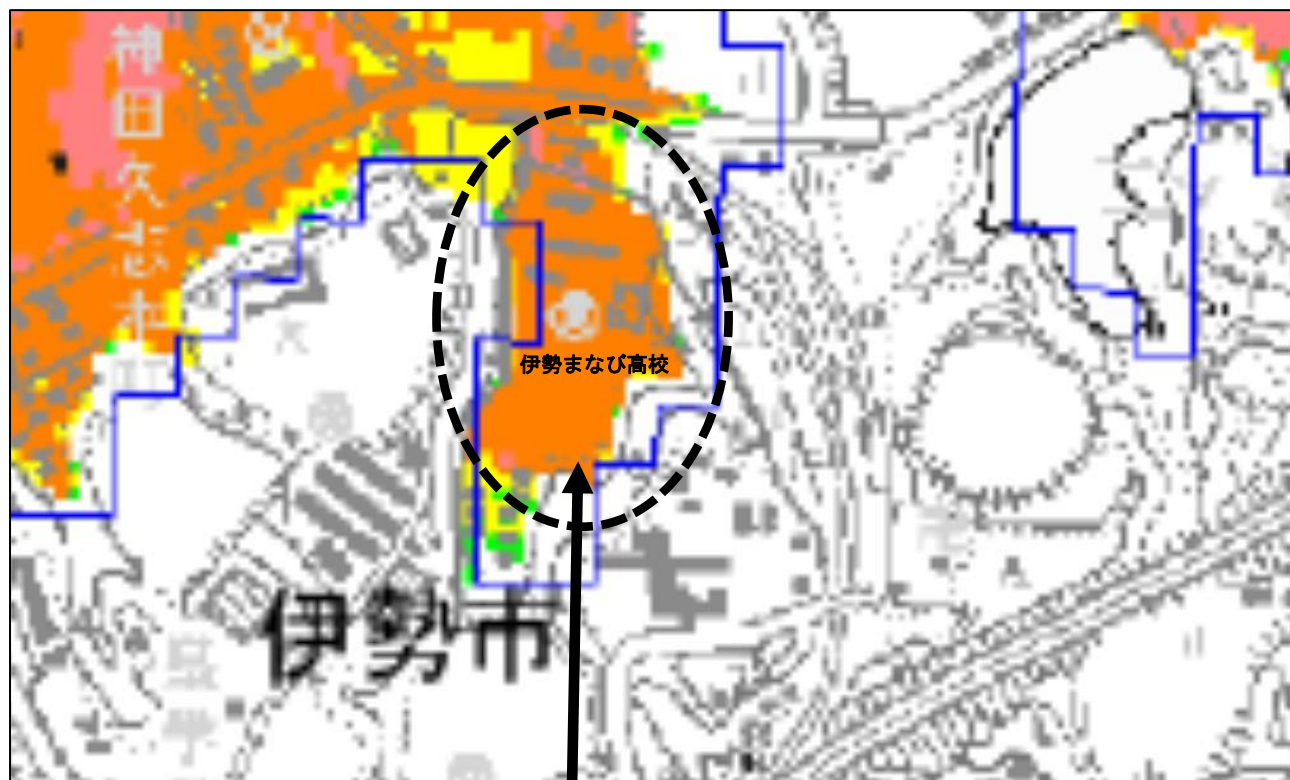
承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

この津波浸水予測図は、国土地理院の『東日本大震災からの復旧・復興及び防災対策のための高精度標高データ』に関する資料を使用して作成した。

この図面の基図として用いている地図には、市町村合併前の地名が記載されている場合がありますので、ご了承ください。

三重県立伊勢まなび高等学校

住所：三重県伊勢市神田久志本町１５６０番地



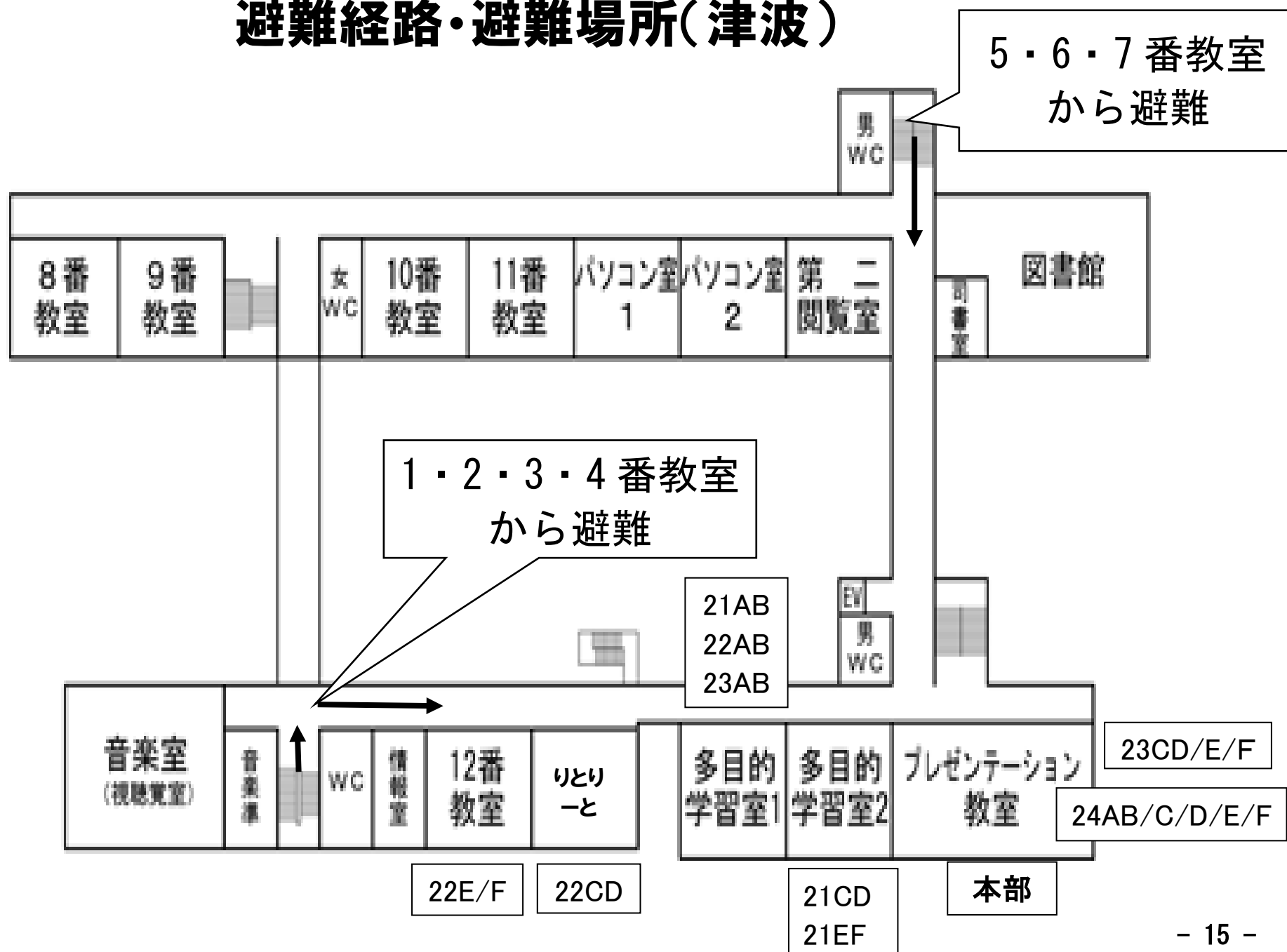
伊勢まなび高校の敷地内は、浸水深の目安１～２ｍとなっています。

※浸水深の目安１～２ｍ：「津波に巻き込まれた時ほとんどの人が亡くなる」

〈参考〉	標高	伊勢まなび高校	2.3m
		倉田山公園（野球場）	18.8m

避難経路・避難場所(津波)

3 階



震度 0	人は揺れを感じない。
震度 1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
震度 2	屋内にいる人の多くが揺れを感じ、電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 棚にある食器類が、音をたてることがある。
震度 4	かなりの恐怖感があり、つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立て、座りの悪い置物が倒れることがある。
震度 5 弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。 座りの悪い置物の多くが倒れ、窓ガラスが割れておちることがある。
震度 5 強	非常な恐怖を感じる。テレビが台から落ちることがある。補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。
震度 6 弱	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い木造建物では倒壊するものもある。地割れや山崩れなどが発生することがある。
震度 6 強	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では倒壊するものがある。地割れや山崩れなどが発生することがある。
震度 7	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。